

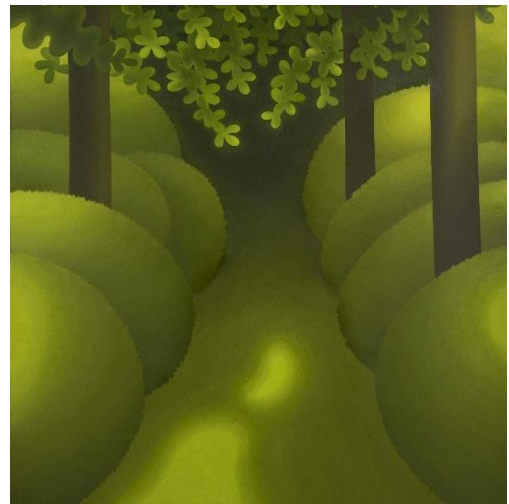
再オープン記念 令和8年度第1期

■所蔵品展 「特集：丸山純子 呼吸する庭／新収蔵作品展」

■谷内六郎展 「月のひかり、星のきらめき」



丸山純子《無音花畑—横須賀》展示風景
2026年、撮影：中川達彦



小林孝亘《Moonlight》
2014年、横須賀美術館蔵

1. 開催趣旨

横須賀美術館では、本館地階にて所蔵品展を開催し、所蔵する日本の近現代の美術作品や、横須賀ゆかりの作家の作品などをご紹介します。改修工事後の再オープンを記念した今会期は、特集として、北側展示ギャラリーを中心に「丸山純子 呼吸する庭」の開催と、近年購入や寄贈によって収蔵した作品をお披露目します。

また、谷内六郎館では、再オープン記念として、「週刊新潮」表紙絵に加え、新収蔵作品をご紹介します。

2. 各展覧会概要

(1) 再オープン記念 令和8年度第1期 所蔵品展「特集：丸山純子 呼吸する庭」
「特集：新収蔵作品展」

横須賀に在住する丸山純子は、人々の生活の痕跡や記憶が残る、身の回りの素材を用いながら「再生」や「循環」をテーマに制作を続けています。本展においては、廃材、石鹸などを扱いながら、しなやかな生命を感じさせる、非日常的な風景へと再構成するインスタレーションを発表します。また、スーパーのビニール袋やレジ袋を素材に、新たな試みを加え、花畑をワークショップ参加者と共に制作、展示します。会期中も咲き広がり、変化してゆく作品をお楽しみください。

朝井閑右衛門室では、洋画、水墨画に加えて、朝井の友人であり洋画家の大河内信敬が所蔵していた資料を新公開、展示室5では1960年代の横須賀を捉えた写真家の北井一夫の新収蔵作品や森山大道らの作品を並べます。また、展示室7では駒井哲郎、浜口陽三、池田満寿夫の1950～60年代に手がけた版画を、北側展示ギャラリーでは荒川修作、辰野登恵子、小林孝亘の絵画を展示し、新たなコレクションの歩みをご案内いたします。

会場 横須賀美術館 本館地階 展示室、展示ギャラリー

主催 横須賀美術館

協賛 一般財団法人 シティサポートよこすか

協力 プレアデス株式会社、木遊び（「丸山純子 呼吸する庭」）

（2）再オープン記念 令和8年度第1期 谷内六郎展

「月のひかり、星のきらめき 『週刊新潮』表紙絵と絵本『びんのそら』より」

谷内六郎は、1956（昭和31）年の『週刊新潮』創刊から、1981（昭和56）年に世を去るまでの四半世紀にわたり、約1,300点にのぼる表紙絵を描きました。谷内六郎館では会期ごとにテーマを変え、さまざまな切り口でその世界をご紹介します。これまで行ってきた「週刊新潮」表紙絵の展示に加え、今期より近年ご遺族から寄贈された新収蔵作品も併せて展示し、表紙絵とはまた異なる魅力を持つ作品をお披露目していきます。

今会期のテーマは「月のひかり、星のきらめき」です。代表作である『週刊新潮』の表紙絵から、星や月、夜空を描いた作品を取り上げます。また新収蔵作品からは、谷内が文と絵を手がけた絵本『びんのそら』の装丁・挿絵原画をご紹介します。

会場 横須賀美術館 谷内六郎館

主催 横須賀美術館

3. 会期（所蔵品展・谷内六郎館 共通）

会期 令和8（2026）9月5日（土）～令和9（2027）年1月17日（日）

休館日 9月7日（月）、10月5日（月）、11月2日（月）、12月7日（月）、12月29日（火）～1月4日（月）

所蔵品展・谷内六郎館 無料観覧日 11月3日（文化の日/火・祝）

問合わせ先 横須賀市コールセンター046-822-4000（月～金曜日：8:30～17:15、土日祝休日：8:30～16:00）

4. 観覧料（所蔵品展・谷内六郎館 共通）

一般 450（360）円、高校生・大学生・65歳以上 350（280）円、中学生以下無料

*（ ）内は20名以上の団体料金 *高校生（市内在住または在学に限る）は無料

*身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付添の方1名様は無料

*関連事業については、当館ウェブサイトをご覧ください。<https://www.yokosuka-moa.jp/event/>

見どころ1 「丸山純子 呼吸する庭」



丸山純子《なお、生きる》展示風景
2026 年、撮影：中川達彦

本館地階の吹き抜けの大空間で、人間の皮膚を想起させるような既成布と木材による立体、そして平面作品で構成されるインスタレーション《なお、生きる》を発表します。

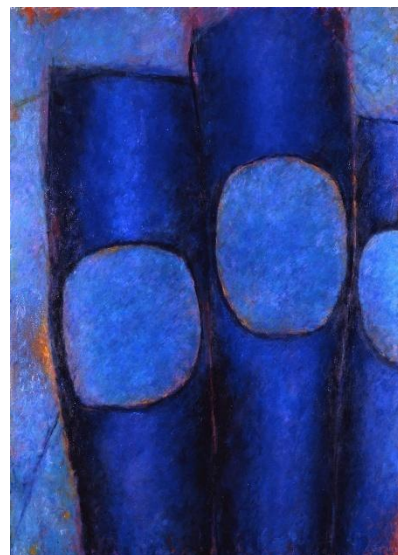
さらに当館の休館中、そして再開館後のワークショップで、参加者がビニール製のオリジナルの花を制作します。それらが作品の一部となった《無音花畑—横須賀》をご覧ください。

見どころ2 「新収蔵作品展」

近年の収蔵作品を含めた展示を行います。1960 年代の横須賀を撮った北井一夫と森山大道、戦後の重要な版画として、駒井哲郎、浜口陽三、池田満寿夫を、現代の絵画として荒川修作、辰野登恵子、小林孝亘をご紹介します。

またお手持ちのスマートフォンでも、アプリ「ポケット学芸員」で、新収蔵品について解説や音声データを聴きながら、作品をお楽しみいただけます。

辰野登恵子《UNTITLED 96-5》
1996 年、横須賀美術館蔵



見どころ3 谷内六郎展「月のひかり、星のきらめき」

谷内六郎の手にかかると、見慣れた夜空はユーモアあふれる空想の世界へと姿を変えます。『週刊新潮』の表紙絵では、星を映写機の光に、月をクリスマスツリーの電飾や吹き上げパイプのピンポン玉などに見立てています。

絵本『びんのそら』では、夜空を大きなサイダー一瓶に、星をサイダーの泡に見立てる大胆な空想が広がります。豊かなイメージを支える原画の魅力を、ぜひご覧ください。



谷内六郎『びんのそら』原画
1972 年、横須賀美術館蔵 ©Michiko Taniuchi

【要旨用短文】

(全体) 100 字 所蔵品展では、新収蔵作品のお披露目と、横須賀ゆかりの作家・丸山純子を紹介する特集展示を行います。谷内六郎館では、代表作『週刊新潮』表紙絵に加え、新収蔵作品から絵本『びんのそら』の装丁・挿絵原画をご覧ください。

(丸山) 100 字 美術家・丸山純子の関東の公立美術館初個展。廃材と廃油石鹸を塗布した既成布による立体「骨と皮」シリーズや、ワークショップの参加者と共にビニール製の花を制作するインスタレーションを発表。

50 字 美術家・丸山純子の関東の公立美術館初個展。ワークショップ参加者と制作するインスタレーションを発表。

20 字 丸山純子の関東での公立美術館初個展。

(谷内) 100 字 月や星、夜空を描いた作品を展示。代表作『週刊新潮』表紙絵に加え、新収蔵作品から絵本『びんのそら』の装丁・挿絵原画も紹介。夜空に大きなサイダー瓶が浮かぶ、ユニークな原画は必見です。

50 字 谷内六郎が描く、月や星、夜空の世界。新収蔵の絵本『びんのそら』装丁・挿絵原画も展示します。

20 字 月や星、夜空をめぐる谷内六郎の空想世界。

【図版の使用等について】

このプレスリリースに掲載されている画像データをプレス掲載用にご用意しております。

「申込書」に必要事項をご記入のうえ、ファクスまたはメールにてお申込みください。

・「申込書」に記載のある画像以外は使用できません。

・作品画像は全図で使用してください。

トリミングや文字のせなど、画像の加工・改変はできません。

・画像データ使用は、本展覧会の紹介のみとします。

・申込書に記載してあるとおりのキャプション表記をお願いします。

・WEBに掲載する場合は、解像度72dpi以下とし、コピーガード（右クリック不可）を施してください。

・再放送、転載など二次使用の場合、別途お申込みが必要です。

・その他、著作権により使用制約がある場合や、ご希望に添えない場合がございます。

・原稿は掲載前に必ず当館「総務系」の確認を得てください。確認に期日を要するため、予め余裕をもってお送りください。

・展覧会場の取材、撮影をご希望の場合、「総務系」までご連絡ください。来館者の安全な鑑賞環境を優先するため、ご希望に添えない場合もございます。また、事前にご連絡のない取材、撮影はお受けできません。

・掲載誌（紙）、媒体（DVDなど）、URLなどを「総務系」あてに1部以上お送りください。

【交通のご案内】

■電車をご利用の場合

*京急線「馬堀海岸」駅もしくはJR「横須賀」駅から
観音崎行バス「ラビスタ横須賀観音崎テラス・横須賀
美術館前」下車徒歩2分

*京急線「浦賀」駅から観音崎行バス終点「観音崎」
下車徒歩5分

■車をご利用の場合

*横浜横須賀道路馬堀海岸I.C.から約3km（約5分）



再オープン記念 令和8年度第1期

所蔵品展 「特集：丸山純子 呼吸する庭」「新収蔵作品展」

谷内六郎展 「月のひかり、星のきらめき 『週刊新潮』表紙絵と絵本『びんのそら』より」

掲載図版申込書

FAX：046-845-1215 横須賀美術館 行き

本展覧会の掲載図版をご希望の方、下記へご記入の上 FAX にてご請求ください。必要な図版に☑をつけてください。

☐ 	☐ 	☐ 
丸山純子《無音花畑—横須賀》展示風景 2026年、撮影：中川達彦	丸山純子《無音花畑—横須賀》展示風景 2026年、撮影：中川達彦	丸山純子《なお、生きる》展示風景 2026年、撮影：中川達彦
☐ 	☐ 	☐ 
辰野登恵子《UNTITLED 96-5》 1996年、横須賀美術館蔵	小林孝亘《Moonlight》 2014年、横須賀美術館蔵	谷内六郎『びんのそら』原画、1972年 横須賀美術館蔵 ©Michiko Taniuchi

必ずご記入ください⇒ 貴社名 TEL.

貴誌（紙）名 ご担当者様お名前

メールアドレス（画像データ送付先）

ご要望事項（サイズ・解像度など）

ご住所